

LIVES

LIVING & LIFESTYLE MAGAZINE

DEC.-JAN.
13/14
980yen

VOL.
72

いまどき／

30代はどんな家づくり選んでる? 30代のマイホーム

あのひとの部屋 大東駿介(俳優)

1000万円台で一戸建て

懐かしの団地をリノベ

子育て期間限定の家

コーポラティブハウスで
都心ライフ …etc.

好きなものに囲まれて暮らす幸せ

趣味人たちの部屋づくり

男の趣味空間

STUDY／COOK／MUSIC／GREEN／D.I.Y.

入居可能／

デザイン物件 レビュー

ソムリエのいるマンション
米軍ハウスに暮らす



HOUSE DESIGN 4 COLLABORATION

右から ベツダイ代表取締役 矢邊弘氏、建築アドバイザー 坂口文哉氏、藤の家建築設計事務所 山内靖朗氏、LIVES編集長 坂本二郎、ベツダイ建築士 河野堅一氏、チャンネルオリジナル株式会社代表取締役 家山英宣氏、福岡営業所所長 根本忠臣氏、省エネ健康診断士 早川茂郎氏、ベツダイ広報部 渋谷恵氏

自然のエネルギーと暮らすライフスタイルの提案。 パッシブハウスへの新たな取り組み

エコハウスへの多様なアプローチを見せているベツダイ。
その新プロジェクトは自然の力を最大限に活用したパッシブハウスだ。
さまざまな企業とコラボレーションしながら、あるべき住宅の形を模索する
注目のプロジェクトをLIVESがレポートした。

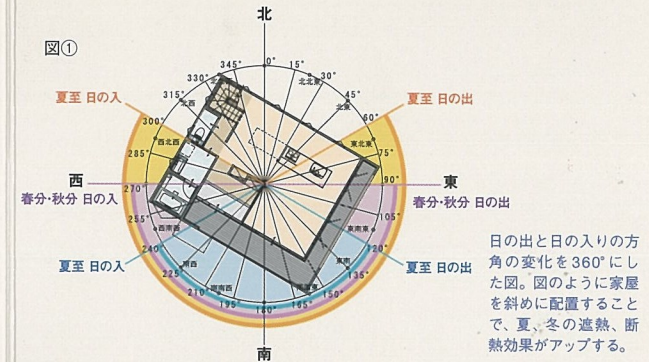
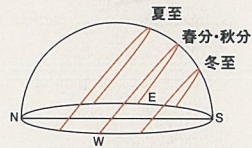
text:jun manabe photograph:kaori nishida

さまざまな企業とのコラボレーションで、これからの住宅
のあるべき形を発信していく、ベツダイの「イエコラボ」プロ
ジェクト。ここでまた一つ、新たなエコハウスのプロジェ
クトが具体的に動きだしている。

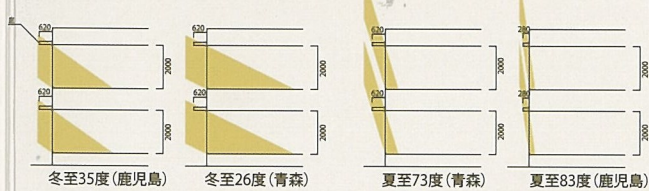
新たなプロジェクトのテーマは、「私たちにちょうどいい、
パッシブハウス」。エネルギーを得るために、人工的なプロ
セスを介すものがアクティブエネルギーと呼ばれ、太陽光に
よる発電や、ヒートポンプによるエネルギー交換などがこ
れにあたる。今回のプロジェクトでは、こうしたアクティブ
エネルギーを使わず、風、光といった自然界に存在するパッ
シブエネルギーを最大限に生かしながら、快適な暮らしを
つくり出すことがテーマ。一般消費者の環境への意識が高
まっている現在において、まさにタイムリーな住宅といえ
る。ベツダイとコラボレーションするのは、特殊加工を施し
た木材で、次世代の木の家を提案している「チャンネルオリ
ジナル株式会社」。彼らの木材加工技術が生み出した、固く歪
みが生じにくいハイブリッドハードウッド「BDウッド」を使
用した、環境にやさしい木の家が誕生する。

エネルギーを使わず、設計手法によって快適な空間をいか

季節による日の出と
日の入りの方角の変化



地域別 夏至・冬至の入射角変化



新プロジェクトについてベツダイ代表取締役 矢邊弘氏は
「エネルギーを使わないといっても、我慢したり、生活の利便
性を損なうようでは意味がない。そんな想いを反映し、名
前も『私たちにちょうどいい、パッシブハウス』にしました。
風や光とともに生きていくことが自然と快適なライフスタ
イルになっていく。そんな住宅を目指して完成までブラッ
シュアップを重ねて行きたいと思っています」と語る。

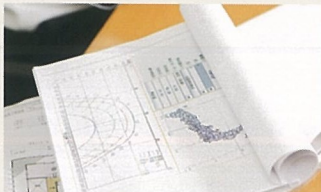
アクティブエネルギーを活用した太陽光パネルや給湯シ
ステムなどの普及は目覚ましいが、パッシブハウスを全国
対応の規格型住宅として量産していくという試みはまだ
数少ない。木の外壁が快適な住環境を包み込む『私たちに
ちょうどいい』パッシブハウス。今回のプロジェクトで、パッ
シブハウスがどんな広がりを見せていくのか、楽しみだ。



ベツダイとチャンネルオリジナル株式会社のコラボレーションによる外壁を使用したゼロキューブ。現在進行中のパッシブハウスでは、外壁に加え、木製サッシが標準仕様となり、底と開口部で温度調節する予定だ。



左/独自の木材硬化技術によってつくられるBDウッド。反りや曲がりがおきにくく、耐久性とデザイン性の両面にすぐれている。右/パッシブハウスには屋上に設けられ、図のように緑化される。



日本全国の風土に対応し、どこで建てても快適な住宅とするため、各地の気象、天文データを収集、分析した。



今回のプロジェクトリーダーであるベツダイの河野堅一氏。



右から、チャンネルオリジナル株式会社代表取締役 家山英宣氏、福岡営業所所長 根本忠臣氏、省エネ健康診断士 早川茂郎氏

LIVES 編集長 坂本二郎

パッシブハウスのイメージを 変えてくれることに期待

設計上周辺環境の制約を受けやすいパッシブハウスを量産するという試みは珍しく、とても意義がある。*住むのが難しそう、意識の高い人しか住めない、といったパッシブハウスのイメージが変わっていくことに期待したい。



エントリー受付中の住宅設計コンペ.....

「家具から考える家」

協賛：旭川家具工業協同組合

「どのように暮らすか」というライフスタイルから家について考えるとき、そこにはどのような家具が、どのようなデザインで存在しているべきなのか？家をデザインし、そこに合わせて家具を選ぶという家づくりのスキームから脱却し、家具を「いえぐ(家の道具)」としてとらえ、家具まで含めた家全体の建築デザインの提案を求めます。

主催者
株式会社ベツダイ
審査委員
矢邊弘(株式会社ベツダイ代表取締役社長)
山内靖朗(藤の家建築設計事務所主宰・大阪芸術大学専任講師)
織田憲嗣(椅子研究家・東海大学芸術工学部特任教授)
渡辺直行(旭川家具工業協同組合理事長・株式会社カンディハウス代表取締役会長)
杉本啓雄(旭川家具工業協同組合専務理事)
坂本二郎(リビング&ライフスタイルマガジン「LIVES」編集長)
佐藤真一(有限会社不動産企画ウィル代表取締役)

BETSUDAI

もっと見たい！ 知りたい！ イエコラボはコチラ

イエコラボ

検索